

2024年3月をもって
定年退職されます

樋野幸男先生 最終講義

文の風景 —素朴な日本語研究を歩んで—

日時: 2024年3月21日(木)

15:00-17:00

場所: 人文学部第4講義室

どなたでも
聴講可能です
ご来場を
お待ちしております

室町時代語を反映する『中華若木詩抄』の準体句（現在は準体構造とよぶ）分析から始めた道程は、現代語における所謂〈主部内在関係節〉が〈準体構造〉であることの理解に不可欠な《名詞句の時間（その限定および推移）》に接続した。その周辺では〈文〉のすがたが髣髴とする。高度な言語理論によらない素朴な日本語研究をゆるやかに歩んできた最終講義として、〈文〉の周辺にみえる風景をお伝えする。

前半で〈主題のない単純な完成相動詞述語文〉について述べた拙稿「文のすがた—名詞句の時間的限定から—」（『富山大学人文科学研究』80、2024年2月刊）を紹介し、後半でその近隣によこたわる諸問題を考察する。

〔経歴：名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程を満期退学した後、1995年4月に富山大学教育学部に着任し、学部改組のため2005年10月より人文学部に異動となる。〕

当日参加可能です！

資料準備のため、**事前申し込み**に
できるだけご協力ください！

<https://forms.office.com/r/QQkKk2SkB1>



問合わせ先：
言語学研究室 安藤 智子
ando@hmt.u-toyama.ac.jp